

連絡先

TEL 0853-20-2426・2427 (病理部)

FAX 0853-20-2425

病理部の専門分野

病理診断全般

業務内容

1. 組織・細胞診

院内全ての臨床科からの組織診及び細胞診検体に対しての病理診断を行っています。診断に際しては基本的なH.E.染色や種々の特殊染色に加えて、免疫染色をルーチンで行っており、一般的に用いられる抗体は全て常備しています。また病理学講座の協力を得て、病理検体からの遺伝子検索（結核菌DNA検出、悪性リンパ腫診断に際しての免疫グロブリンやT細胞受容体の再構成バンドの検出、各種腫瘍のキメラ遺伝子検出、ウイルスや免疫グロブリンに対するin situ hybridizationなど）も可能な限り行っています（図参照）。乳腺のHer2, estrogen receptor, progesterone receptorの免疫染色も施設内で行っています。免疫染色は近年急激に増加しています（図参照）。さらに、昨年9月より中四国の大学では初となる、乳癌のセンチネルリンパ節術中生検にOSNA (one step nucleic acid amplification) 法を導入して微量な転移巣を見落とさないように努力しています。これはリンパ節中のcytokeratin 19のmRNAを術中に短時間で検出する機器です。

当病理部では全国に先駆けて報告書・画像のコンピュータファイリングシステムを導入し、研修医の教育や各科の学会発表に役立ててきましたが、このシステムは平成17年12月から新システムに更新され、病理報告の閲覧や、平成6年度以降のデータ検索が非常に迅速かつ容易になりました。

生検は日替わりで担当者が決められ、毎日行われる部内カンファレンスを経て報告をしています。検体提出から報告までの時間は24-48時間です。手術材料に関しては、原則として新鮮材料の画像取り込みから報告まで一括して病理部で行い、報告には診断・所見の文字情報に加え、画像情報およびシェーマを作成して添付しています。手術材料の報告は症例担当者と病理専門医によるdouble checkのもとで行われています。

細胞診に際しては4名の細胞検査士免許（内3名は国際免許）をもつ技師がスクリーニングし、3名の細胞診指導医との緊密な協議の後に報告しています。細胞診も最近では術中迅速診断や免疫染色を行うケースが増加しています。

当病理部では全国的にみても、病床数に対しての術中迅速診断件数が非常に多いのが特徴です（図参照）。

平成19年度よりバーチャルスライドシステムを導入し、国立がんセンターなど各分野の専門家へのコンサルテーションが容易になり、近隣の病理医との連携や、学生や研修医の教育、さらには部内での臨床科とのカンファレンスに効果を発揮しています。さらにこのシステムを当大学のプロジェクトとして採択された、「地域医療等社会的ニーズに対応した質の高い医療人養成推進プログラム：WEBを利用した在宅学習・遠隔診断システム」の一環として利用しています。（図参照）

2. 病理解剖

院内での剖検は病理学講座とともに、研修・指導医体制を組んで行い、解剖後はできるだけ早く原則として全例CPCを行うようにしています。依頼があれば院外の剖検にもできる限り協力しています。剖検症例に関しても生検や手術材料と同様に可能な限りの検索を行っています。

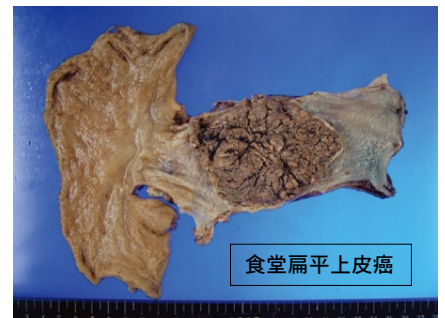
当然ながら、御遺体に対しては礼を失することなく真摯な態度で解剖を行い、解剖後も最新の技術を駆使して丁寧な検索を行い、患者さんや御遺族のお気持ちに充分応えられるよう努力しています。



毎日開かれる生検検討会



組織標本作製風景



食堂扁平上皮癌

コンピューター保存されたマクロ画像



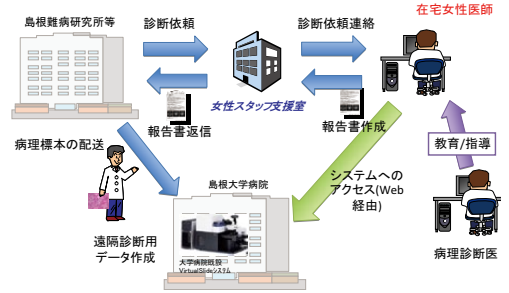
部長、併任、器官病理学講座教授
丸山理留敬

専門分野

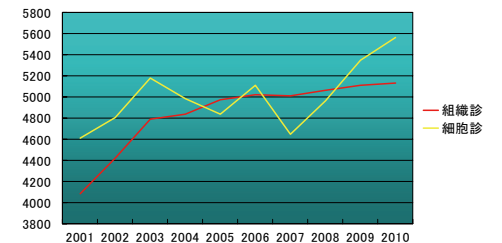
病理診断学

資格

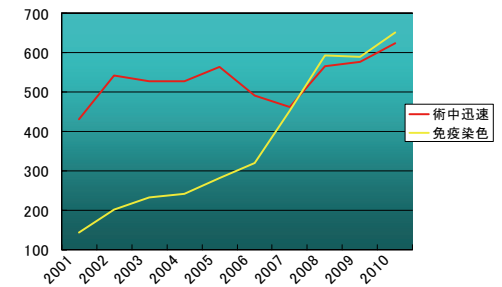
日本病理学会認定病理専門医、
日本病理学会認定病理専門医研修指導医、
日本臨床細胞学会認定細胞診専門医



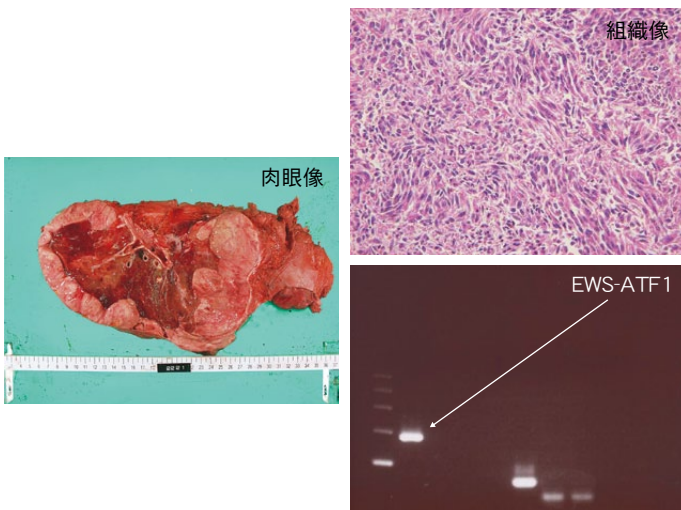
バーチャルスライドシステム



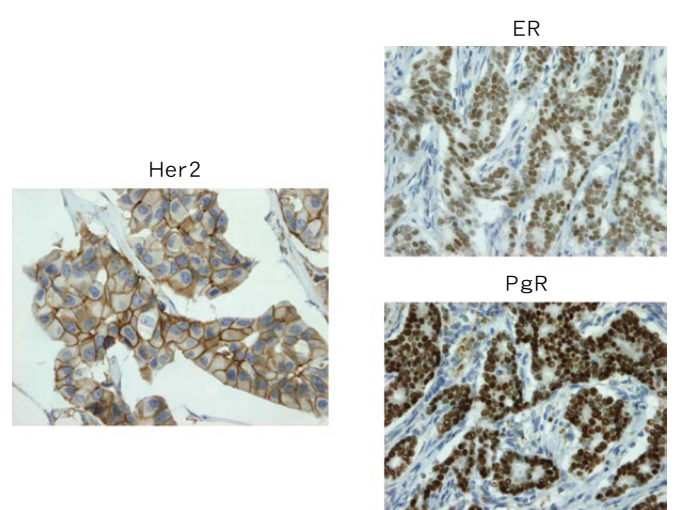
組織診と細胞診件数



術中迅速件数と免疫染色件数



胸膜原発 clear cell sarcoma の病理画像とキメラ遺伝子検出



Her2、ER、PgR 免疫染色

副部長等のプロフィール

 <p>専門分野 病理診断学、分子生物学</p> <p>病態病理学講座教授 並河 徹</p>	 <p>専門分野 病理診断学、分子生物学</p> <p>資格 日本病理学会認定病理専門医、 日本病理学会認定病理専門医研修指導医、 日本臨床細胞学会認定細胞診専門医</p> <p>副部長、専任 原田 祐治</p>												
 <p>専門分野 病理診断学</p> <p>資格 日本病理学会認定病理専門医、 日本臨床細胞学会認定細胞診専門医</p> <p>器官病理学講座助教 荒木亜壽香</p>	 <p>専門分野 病理診断学</p> <p>資格 日本病理学会認定病理専門医</p> <p>器官病理学講座助教 石川 典由</p>												
 <p>専門分野 病理診断学</p> <p>病態病理学講座助教 天野 知香</p>	 <p>専門分野 病理診断学</p> <p>器官病理学講座助教 長瀬真実子</p>												
 <p>専門分野 病理部業務全般、細胞診</p> <p>資格 臨床検査技師、国際細胞学会認定検査士、 日本臨床細胞学会認定検査士</p> <p>検査部主任技師 荒木 剛</p>	<p>2010年院内検体数</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>・組織診件数（生検及び手術材料）</td> <td>5,113</td> </tr> <tr> <td>・細胞診件数</td> <td>5,346</td> </tr> <tr> <td>・術中迅速組織診断件数</td> <td>623</td> </tr> <tr> <td>・術中迅速細胞診断件数</td> <td>126</td> </tr> <tr> <td>・免疫染色件数</td> <td>651</td> </tr> <tr> <td>・病理解剖数</td> <td>42</td> </tr> </tbody> </table>	・組織診件数（生検及び手術材料）	5,113	・細胞診件数	5,346	・術中迅速組織診断件数	623	・術中迅速細胞診断件数	126	・免疫染色件数	651	・病理解剖数	42
・組織診件数（生検及び手術材料）	5,113												
・細胞診件数	5,346												
・術中迅速組織診断件数	623												
・術中迅速細胞診断件数	126												
・免疫染色件数	651												
・病理解剖数	42												